

令和5年度 第1回 印西市市民参加推進委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年8月7日（月） 午後2時～4時
- 2 開催会場 印西市役所4階 41会議室
- 3 出席者 小出正史委員、五十嵐盛春委員、青山真佐江委員、片桐顯二委員、榊原賢一委員
- 4 事務局 岡本課長補佐、本田、榎田
- 5 傍聴者 0名
6. 会議内容
 - 1 開 会
 - 2 議 題
 - (1) 令和4年度印西市市民参加実施結果の報告について
 - (2) 令和5年度市民参加手続の実施予定について
 - (3) その他
 - 3 周知事項・事務連絡

7. 会議要旨

2 議題

- (1) 令和4年度印西市市民参加実施結果の報告について

《事務局説明》

・資料1 令和4年度 印西市市民参加実施結果報告書及び資料2-1 令和4年度市民参加手続（1 市民意向調査、2 市民説明会、3 市民意見公募、4 市民会議）の実施状況、資料2-2 令和4年度市民参加手続（5 審議会等）運営状況について説明。

《委員質問・意見》

- ・当日資料1 令和5年度第3回市民参加推進委員会事前質問及び意見に基づき、質問や意見、また質問に対する回答を共有。
- ・資料2-1P1・番号1 行政評価においては、市民満足度・重要度調査が市ホームページ「まちの情報→市民参加→市民意向調査手続き（アンケート）の結果」から見るができないので、同じ市民意向調査手続きであれば見えるようにしてほしい。
- ・総合計画の概要を転入者に配るなどしてはどうか。
- ・資料2-1P2 番号4 第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業の策定、番号5 第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針の策定において、市ホームページ「まちの情報→市民参加→市民意向調査手続き（アンケート）の結果」に掲載してほしい。
- ・市民意向調査手続きにおいて、QRコード利用していると良い。
- ・資料2-1P2 番号6 公共施設整備基本方針の策定について、16件の意見があったが、意見を表明できる仕組みを整備していることが大切である。
- ・資料2-1P2 番号7 印西市災害廃棄物処理計画の策定において、内容が難しく、意見を表明しづらい。概要版を整備して分かりやすく説明しようとしている。
- ・資料2-1P2 番号7 印西市災害廃棄物処理計画の策定において、身近に感じる説明を整えることが大切である。
- ・市民意見公募において（パブリックコメント）、意見の公募期間を弾力的に伸ばしたりし

ていくと良い。

・市民意見公募を気軽に行うことが難しいので、勉強が必要。意見を応募するとなると、つい気弱になってしまう。意見を寄せる分野が自分にとって専門分野ならまだしも、そうでないとますます難しい。

・分からない市民として、初歩的な意見を出してみたい。こういうことが問題である、またこんな意見が出ているなど、感じられると良い。

・市民意見公募への対応を公表していますか。

→計画等にどのように取り入れるのかも含め、公表している【事務局】。

・総合計画の市民説明会等で、以前説明動画を市ホームページに掲載していたものを視聴したことがある。

(2) 令和5年度市民参加手続の実施予定について

《事務局説明》

・資料3 令和5年度市民参加手続の実施予定について説明。

《委員質問・意見》

・当日資料1 令和5年度第3回市民参加推進委員会事前質問及び意見に基づき、質問や意見、また質問に対する回答を共有。

・市民意向調査について、自分自身がその状況になってみないと意見を表明することが難しいように思う。印西市は外国人や転入者も多くおり、多くの市民の目に触れることができるよう、SNSなど活用してほしい。目に触れるきっかけがあると良い。

・子育て中心のまちづくりだけでなく、市民参加推進の方向に繋がってくれればと思う。

・他市の事例で審査会の委員にIT企業社員に委嘱した例がある。今後、そうした取り組みも検討していけると良い。

(3) その他

①市民参加推進委員について（当日追加資料1 市民参加条例・施行規則抜粋及び当日追加資料2 市民参加推進委員会委員募集要項をもとに検討）

《委員質問・意見》

・市民と行政が連携すると良い。転入して30年、北総線の開通が途上の時期から暮らしており、町内会等や高齢者クラブを地域で担い、感じたこととして、市民参加の一つとして印西市でアドバルーン的な行事があると良い。ニュータウン事業計画の変更から新しい時代になり、市民アカデミーでは市民と行政の協働が重要ということを学んだ。

・市民参加推進委員を1～2名増やせると良い。

・人数が多いと会議がまとまりづらいうように感じるが、現在の人数よりもう少し多くても良い。

・審議会委員の重複は不可とのことだが、例外的に認めても良いと考える。その方法を検討すると良い。

・参加したい気持ちを認めてもらえると良い。

・公募の際には職歴や学歴を記載するようになっているが、ハードルが高いように感じる。実際はどうか。

→当日追加資料2 市民参加推進委員会委員募集要項の6 提出書類及び、当日資料2 印西市市民参加条例の手引P27、P28に基づいている【事務局】。

・学識経験者の基準はあるのか。

→学識経験者について、大学等の専門家を委嘱することはある【事務局】。

・関心のある人材を発掘し、また人材バンクを整備すると良い。

②市民意見公募の周知啓発について

《委員質問・意見》

・YouTube やツイッターなど活用してはどうか。ふだん、小規模特認校の危機感などの声をよく聞く。また、ニュータウンの図書館では子供が多すぎて大変であるという声を聞く。他方では、田舎の図書館では書籍が入ってこないと聞く。意見公募の仕組みが分からない、入りやすいところから意見を寄せてはどうか。いんざい君のツイッターを活用するなど、広く周知方法を考えてはどうか。

・市民参加手続きの場合は意見公募としてテーマを決めて意見を公募することとなるが、市政では広聴という形で柔軟に意見を寄せる場もある。

・学校適正規模・適正配置基本方針の策定においては、学校長などが委員となっている。それ以外の人は意見表明の方法が分からない場合がある。そういったことも踏まえて所管の審議会で審議してほしい。

・市長への手紙など広聴制度となると、予算等はないが検討することとなる場合もあると思う。素朴な意見も苦情もあると思う。苦情も一つの市民参加であるという意見もある。

・市民意見公募の際には、回答の公表時期や方法をあらかじめ明示しておくが良い。

→市長への手紙については、市民の方に市政ポストに投函してもらい、回答希望の際には市行政において市長まで決裁の上で回答することとなる。市ホームページにおいて、市への質問・相談のページを設けている。学校適正規模・適正配置基本方針の策定において、保護者に案内が届くか学務課に確認しておく【事務局】。

・市民意見公募の際、閲覧する計画等の資料についてダウンロードできると良い。

・市民意見公募は市民参加手続きの一つなので、公の場で公開される意見であることを応募する市民が理解している必要がある。

・市民側も、市民全体でともにまちづくりに取り組む姿勢が必要である。

3 周知事項・事務連絡

事務連絡として、市民提案手続きがあった際には、臨時で会議を開催する場合があることをお知らせする【事務局】。

令和5年8月7日に行われた印西市市民参加推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年8月24日

会議録署名委員 小出 正史